



発行／小諸市公民館
編集／館報編集委員会
〒384-0801
長野県小諸市甲1275-2
☎0267-23-8880

No.805



■主な内容

- 30 **—特集—** 第52回児童生徒新年書初展
- 32 ぼくとわたしの作品【東小学校】
- 33 人ひと／川柳・短歌
- 34 今支館分館では【東山分館・緑ヶ丘分館】
- 35 小諸市文化会館カレンダー／お知らせ

「小諸市児童生徒新年書初展表彰式」の様子

厳しい冬の寒さに耐えてきた人々にとって「3月」の声を聞くと、待たれていた春の訪れを感じて、心が弾みます。そして3月3日は「桃の節句」。女の子の幸せを祈り、健やかな成長を願う行事です。現在は雛祭りとも言われ、雛人形を飾りますが、元々は人形が身代わりになって邪気を払うと信じられていたことから、流し雛の儀式が起源と言われます。京の貴族の子女から始まり、江戸時代に庶民へと伝わり、定着していったそうです。

その江戸時代の雛人形が小諸の商家に保存されていたことから、北国街道小諸宿「お人形さんめぐり」は始まりました。

ひと針ずつの町おこしとして本町で始まったこの催しも今年で13回を数え、今では相生町や大手・市町・荒町・与良へと広がり、2月末からのイベント開催中は各地から多くの人々が訪れて、賑わいます。江戸時代から現代までの様々な雛人形やつるし雛をはじめ、工夫を凝らした展示やバラエティ豊かな催し物で彩られる町中へ、今春あなたも出かけてみませんか。

編集委員 神津 眞美子

